

G ガムチャックス GumChucks



フロスをより楽しく！



チップがユニバーサルデザインに改良されました！
白歯部にもよりアクセスしやすく、矯正治療中の方でも簡単に使用できます。

※ハンドルは旧モデルとも共通です

プッシュボタン

押すことで先端部分が簡単に外せます。
また、フロスに触れずに外せるので衛生的。

フロスはライトワックス付き。



ハンドル

2本のハンドルを使用するため
口腔内でのコントロールが簡単に効果的。

C-シェイプ

米国で多くの歯科医師、
歯科衛生士が推奨する理想的な形です。

WHY GUMCHUCKS ?

フロッシングをする事は、良い口腔状態を保つのに必要不可欠です。多くの人が、時間がかかる事や、難しいという理由でフロッシングをしないという結果が出ています。ガムチャックスは、スピーディーな操作性を備えた初めての、そして唯一のフロスです。



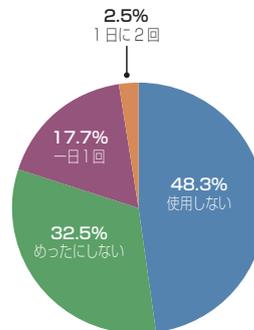
矯正の患者さんの使用例



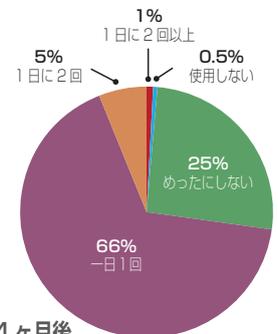
小児の患者さんの使用例

写真提供：ドクターピーパー小児歯科・矯正歯科（神奈川県鎌倉市）吉田 章太 先生

ガムチャックス紹介前のフロスの使用率



ガムチャックス紹介 4ヶ月後の使用率データ



4ヶ月後

フロスを使用しない 48.3%▶ **0.5%**

フロスを1日1回使用する 17.7%▶ **66%**

* 243名を対象に行った研究

* 引用文献：Research undergoing by M. R. Araújo, M.- J. Alvarez, & C. A. Godinho

ハンドルを使用する簡単なヌンチャク型フロスが
フロッシングのモチベーションを上げフロス使用の習慣化に役立ちます。



■ ガムチャックス
スターターパック 10セット
(ハンドル1セット+リフィル10個)



■ ガムチャックス
リフィルパック 10セット
(リフィル30個)



C-シェイプ

歯間隣接面のカーブにフィットし歯間
乳頭まで挿入、歯肉縁下までしっかり
と効果的にプラークを除去します。

■ ユーザーの声



若林歯科 (東京都渋谷区)
院長 若林 健史

歯周病の予防に歯間部のクリーニングが重要であることは周知の事実です。しかし、欧米に比べ患者さんへ積極的にフロスを勧める事ができていないのは歯科医療従事者の多くがフロスの有効性を理解していないからではないかと思えます。フロス使用を普及させるためには、まずは歯科医療従事者へのフロスに対する啓蒙が必要だと思えます。フロスの使用、特に指巻の物は使用方法が煩雑であり患者さんのモチベーションが続きません。また、ホルダー付のフロスも糸が張っているために隅角部分の清掃は難しいです。それに対してガムチャックスは2本のハンドルを使用するためフレキシブルに動き操作性に優れているツールです。ハンドルを指の一部として使用する感覚で清掃できます。さらにはフロスの取り替えもプッシュボタンを押すだけで簡単に着脱でき使用済フロスの部分を触らないので衛生的です。今までは私もフロスを使用する頻度が少なかったですが、ガムチャックスを使ったフロッシングは簡単なので毎日するようになりました。(笑)是非、一度使用する事をお勧め致します。簡単で高い操作性に驚くと思えます



Dr. Homa Zadeh, DDS, PhD
Post-doctoral Periodontology Director, University of Southern California, Ostrow School of Dentistry
PRESIDENT, Western Perio Society

私はガムチャックスを歯周病の患者さん、インプラントのリストラクションの患者さんに勧めています。また、ガムチャックスは他の歯間部の口腔ケアグッズに比べ高い操作性があり、特に小児や年輩の方など比較的細かい作業が苦手な患者さんなどにもお勧めできます。今までにないコンセプトで作られているので、このような患者さんだけではなく、どんな患者さんでも簡単に効率よく使用できます。



日米歯科衛生士 藤森 直子

海外の歯科衛生士がフロス指導に欠かせない合言葉は "C-Shape" (C-シェイプ)!!

日本の歯科衛生士の合言葉 "のこぎりを引くように" に加えてこの世界共通の合言葉を TBI に取り入れブラーク除去率に大きな変化を!

健康な歯周組織に対して特に歯ブラシでは届ききれない部分のブラーク除去効果が高いフロスは、海外でもまだまだ患者教育に欠かせない補助用具のひとつです。

私が日本帰国後5年の間に日本全国各地でセミナー等数多くのクリニックに訪問させて頂いてる中で、歯科衛生士の患者教育にも日米の差を感じていました。"のこぎりを引くように" というフレーズが日本国内ではフロス指導の共通した言語になっているように感じますが、コンタクト部分をゆっくり通過させた後もまだ歯周組織の中で同じ動きをさせ指導されている歯科衛生士さんも少なくありません。

特に歯肉に炎症がある患者さんの場合には、この様な動きは周囲組織を傷つけてしまう恐れがあるため、ポケット内では上下運動で海外の歯科衛生士が必ずフロス指導の時に必ず使う "C-Shape" という合言葉のように、フロスを携ませ、歯の湾曲に沿わせてフロスを上下させることがブラーク除去率を最大限に上げることだと言われています。

まだまだフロスの普及率が低い日本では、フロスという言葉より糸ようじという言葉の方が一般の方々には通じやすく、臨床では実際に指に絡ませて使う患者さんよりもホルダー付フロスや糸ようじを使われている方が多いように感じています。フロスを全くしないよりは、まずはこのような補助用具から始めていただくことも生活習慣化させる第1ステップとしてはグッドアイデアだと思いますが、これらの補助用具では十分な摺りを作ることが難しく歯の湾曲に沿わせてポケット内にフロスを挿入することがかなり難しいのが現状です。

フロスを使っていた場合にも、最終的には "C-Shape" を目指しポケット内へのアプローチも期待したいところだと思います。

その点このガムチャックスは子供でも容易に "C-Shape" を作る事ができ、指に絡ませて使う必要なく口腔内に挿入ができます。

また、ただコンタクト部位に挿入するだけではなく、ポケットの中まで歯面に沿わせて挿入することができます。

私の数多くの臨床ケースもそうですが、何よりも世界で共通してこのガムチャックスに対して口にしてきたことは、ブラーク除去効果が増えることに加え、患者さんがずっと使い続けてくれるモチベーションアップを図るグッズとしても大きな役割を果たしているという事です。

上手に臨床に取り入れることでリコール率が上がることもガムチャックスのメリットのひとつと言えるでしょう。

本記事は、先生のご経験に基づくものであり、効能・効果等を保証するものではありません。
商品の内容・価格・仕様・デザイン等を予告なく変更する場合があります。無断転載禁止。



販売元: クロスフィールド株式会社

〒130-8516 東京都墨田区江東橋1-3-6 TEL 03-5625-3306 FAX 03-3635-1060
URL: <https://www.crossfield.com> E-mail: cf@yoshida-net.co.jp

輸入元: 株式会社吉田製作所



Kurieri
代表 歯科衛生士 北原 文子

こんなにもフロスが楽しいなんて!

うちの合言葉はフロスをしたら歯磨き終了。難しいフロスからの脱却、フロスが習慣化へ。

この製品に出会って子供でも自身で簡単に挿入し歯の湾曲に合わせてフロスを使用することができるとびっくりしました。実際私の姪にも使用してすぐ定着したガムチャックス。もちろん、モチベーションの上がる容姿にも秘訣があるのかもしれない。使用度にテンションが上がります。楽しんでフロスをするのがこんなに簡単にできるなんて、まさにデンタルフロス革命! 一番のお気に入りになりしっかりと上下運動ができること。そのためブラーク除去効果が期待できる点です。親御さんが仕上げ磨きを使用するときも自身の指を口腔内に入れることなく使用でき、視野の確保がきちんとできるため子供が痛がらないこともお勧めポイントです。ガムチャックスは、患者さんや本人のモチベーションアップとともに結果をきちんと出すことができるケアグッズの必須アイテムになることでしょう。



ドクタービーバー小児歯科・矯正歯科
(神奈川県鎌倉市)
院長 吉田 章太

ユニークな形態から生まれる未知のフロッシング体験
ヌンチャク型のユニークな形態のガムチャックスは一見すると玩具のようだが、様々な可能性のあるニュータイプのフロスと言える。

独立して動かせる両端の大きく長いハンドル部は口腔外からフレキシブルにコントロールでき、口腔内に指を入れることなく細かい操作ができる。また、操作性の高さにより再現できる C シェイプはフロスを歯の隣接面形態にぴったりと沿わせることができる。これは従来のホルダータイプのフロスには難しく、ホルダーなしのタイプでは可能だろうと多くのフロスを消費しなければならぬため経済的かつ衛生的とは言えない。これらの独自の特徴により患者、特に小さな子どもにも確実なフロッシングが再現できる。糸の部分は耐久性に優れ、一本で全顎のフロッシングが可能である。また持ち手の部分は繰り返し使用でき、手で触れることなくフロスの部分のみを廃棄できるので衛生的である。

何より驚いたのは、フロスが歯と歯の間に通すだけの物だという概念が自分の中で覆った事にある。ガムチャックスの扱いに慣れてくると、C シェイプを作れる事と細かなハンドリングが可能なる事で近遠心の歯周ポケットにもフロスを通せるようになる。つまり、これまでフロスでは清掃が困難だった空隙歯列の歯間部や最後臼歯の遠心面であっても清掃が可能で、少しの練習で見違える程の結果を実現できる。特に最後臼歯の遠心面は歯ブラシでも清掃が困難な部位なので、フロスを遠心面に沿わせるように当て、ブラークを除去できるのはかなり有効と言える。

当院では機械的清掃後の仕上げとしてガムチャックスを用いている。当院で多く扱うのは乳歯列、混合歯列で、乳歯は永久歯に比べてコンタクトポイントの位置が高いため、一度歯間に入った食渣がなかなか外に出られず、歯肉縁下から隣接面う蝕が始まり、気付いたときにはう蝕の範囲が大きくなっている事が多い。また、混合歯列では歯の萌出交換により口腔内状況が変化していくと細やかな清掃が求められる。このような状況下で食渣をこっそり取る事が出来るガムチャックスはう蝕予防の大きな手助けとなる。

これまで必要性を感じながらも何となくやっていたフロッシングだが、ガムチャックスの存在が当院でのプロフェッショナルケアのレベルを上げたと感じている。また、患者さんには家庭での仕上げ磨きの補助として使用してもらっている。子どもの口腔内は特に狭いので簡単に扱えるガムチャックスは仕上げ磨きを行っている保護者からも評価が高い。

また、ガムチャックスはチップの両側にフックが付いていることでマルチプラケット装置のワイヤーの内側にフロスを容易に挿入でき、矯正装置がフロッシングの障害になることがない。

確かに従来型のフロスに慣れてると独特の構造に面食らうかもしれない。しかし、上手に使用すると歯間に潜んだ食渣を取ることができ、毎日のフロスを楽しんでやってもらえる。ガムチャックスは我々の口腔清掃を何段階もステップアップしてくれるだろう。

使用例動画はこちら



お問い合わせは